



本年度最初の企画展「歴史いきもの図鑑」では、当館が所蔵する原始古代から現代に至る様々な分野の生き物に関わる資料を通じて、私たちと生き物の「これまで」と「これから」を見つめ直します。本号では展示する猪・鷹・竜・てんとう虫の資料を紹介します。

企画展 歴史いきもの図鑑

6/14 **金**9/1 **日**

イノシシ裝飾付縄文土器

北通遺跡(五目牛町) 縄文時代前期



イノシシの顔が付いた土器片

今から約 5,500 年前の縄文時代に、イノシシの顔が裝飾された土器が出現します。イノシシの顔の土器は、群馬県西部を中心に関東からその周辺にまで大流行しました。世代を超えて伝えていく中でイノシシの意味は薄れ、ボタンのような丸い貼り付けへと退化していきました。

竜の目貫(めぬき)

今井北原遺跡(赤堀今井町) 江戸時代か



大きさは約 4 cm

目貫は、刀と柄を固定する目釘を覆う金具で、赤銅を叩き伸ばして作られています。非常に細やかな細工でつくられた目貫は、竜や獅子を題材とするものが多く、柄の両面に一対装着されますが、発掘調査で出土した竜の目貫は 1 点のみです。よく見てみると、竜の鱗まで細やかに表現されています。

鷹(たか)の須臾器

稲荷山古墳(五目牛町) 古墳時代



ここが鈴

全体が丸みのあるフォルムに注ぎ口が付き、翼が付いた須臾器ですが、この翼がなければ鳥であることは想像できません。さらに、尾羽は剥がれてしまっていますが、尾羽の付根には鈴が付けられているため、この鳥は鷹狩の鷹を表現していることがわかります。なんとも愛くるしい体形の鷹ですね。

てんとう虫型レコードプレーヤー 昭和 50 年

てんとう虫型レコードプレーヤーは、「持ち運べて、いつでもどこでも聞ける」がコンセプトのヒット商品でした。音楽を手軽に聞けるこのレコードプレーヤーで聞いた曲は、あの頃の昭和の名曲か、それともアニメソングだったのでしょうか。きっと夢中でみなさん聞いていたでしょう。



羽を取ると...

歴史文化講座

期日: 6月30日(日)

時間: 午後1時30分~午後3時

演題: 「動物と人の関係史」

講師: 群馬県立自然史博物館 姉崎智子さん

会場: 赤堀公民館1階ホール 定員: 100人

申込方法: 6月12日(水)から電話か右のQRコードから申し込み



伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

休館日: 月曜日(月曜日が祝日は翌日)・年末年始
 開館時間: 午前9時~午後5時(入館は4時30分)
 お問い合わせ 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98
 電話 0270-63-0030 FAX0270-63-0087
 Email: siryokan@city.isesaki.lg.jp 入館無料